

氏名	棗田 学
所属・職位	脳研究所 助教
申請タイトル	
	一流誌に論文アクセプト
申請目的	
	髄芽腫という悪性脳腫瘍における SLFN11 発現およびシスプラチンへの感受性や予後との相関をもとめること。
申請内容	
	SLFN11 は DNA 障害型抗がん剤の感受性マーカーである。未だ脳腫瘍における研究は皆無である。髄芽腫は化学療法への感受性が高い悪性症に脳腫瘍であるが、予後良好群は SLFN11 の発現が高い事を突き止めた。培養細胞株で SLFN11 発現とシスプラチンへの感受性の相関を証明し、Neurooncology 誌 (IF 13) への accept を目指す。
活動報告	
	Neuro-Oncology (IF 13.0)に採択されました。  Title: Epigenetic upregulation of Schlafen11 renders WNT- and SHH- activated medulloblastomas sensitive to cisplatin  doi: 10.1093/neuonc/noac243

※上記の内容は、新潟大学教員活性化応援制度（チャレンジマイル制度）により令和4年度に申請及び活動報告された内容を記載しております。（申請期間：令和4年10月～11月，報告期間：令和4年11月～令和5年3月）